

身の回りのものの長さを測ろう

学習指導者 よしい ゆうま
好井 佑馬

子供たちは、身の回りのものの長さについて毎時間、考えたいことを見いだしながら学習してきました。本時は、これまで測定してきたものを使って、10cmぴったりの長さをつくれるかを考えていきました。

本時の行動場面の「お試しタイム」では、10cmをつくる方法を筋道立てて考えました。数値化された長さを計算したり、具体物を操作したりして、「2cmの一元玉が5枚で10cmになるよ」「縦の長さの7cm5mmと横の長さの2cm5mmを合わせると10cmだね」などと、多様な方法を試しながら、粘り強く考える子供たちの姿が見られました。10cmをつくる過程で、10cmの量感を養いながら、長さが計算できることを理解した子供たちは、「30cmものさしをつなげて、もっと長いものの長さを測ってみたい」などと新たに問題を見いだし、学習意欲を高めていきました。



考察

○具体物を操作して、10cmであることを確かめながら、考えられるようにすることで、多様な方法を試して、粘り強く問題解決に取り組む姿が見られました。

●ものの組み合わせを考える際に、長さを計算せずに、10cmをつくる様相が見られました。具体物に長さの表記があることで、長さの数値を意識して、ぴったり10cmの組み合わせを考えられたのではないかと考えました。